

『社会学研究』第56号(1990年12月20日)

小特集「ルーマンの社会システム理論」

- ・「社会システムのオートポイエーシスとコミュニケーション」(佐久間政広)
- ・「意識のオートポイエーシスと相互浸透」(村田裕志)
- ・「N・ルーマンにおける生態的危機をめぐる問題の端緒」(村中知子)

論説

- ・「新明社会学の展開の一端」(山本鎮雄)
- ・「G・H・ミードにおける「社会統御」の概念と「社会的自我」「自我の発生と社会統御」論文を素材に」(徳川直人)
- ・「いわゆる「関係行為」の問題性について」(植木豊)
- ・「地域改善対策事業と地域社会 神戸市K地区の事例より」(高橋英博)